

## はじめに

私は仕事柄、現代の若者と話す機会が多くあります。

そこで感じるのは、われわれの若いときのようなハングリー精神や野心を持った若者にほとんど出会ったことがないということです。

平凡な生活を送ればよい、出世して苦勞するより自身の趣味で楽しめればよい、あるテーマでとことん議論するよりも、適当に相手に合わせてしまえばその方が気が楽だ、など、なんとなく気持ちが冷めているのです。

今と昔とでは環境がまるで違うから、といってしまうえばそれまでですが、これからの時代を担ってもらう若者としては、なんとなく物足りなさを覚えます。

さて、若者諸君。人生は1回限りです。

しかも生まれてから死ぬまで、決して後戻りはできません。そして、これから先の人生のおのおのステップで、さまざまな出来事に出会うと思います。その場合、その年代にしかできないことが必ずあるはずです。中にはそれを実行するために、少し勇気が必要なものもあるかもしれ

ません。

でも、一度は体験してみませんか？

ひよっとしたら自身の大きな成長のきっかけになるかもしれないからです。逆に自分に合わないければやめればよいだけのことです。

私は戦後の団塊世代に生まれ、今まで平凡な人生を歩んできました。

振り返ってみれば若いころ、目の前にさまざまなチャンスがあつたにもかかわらず、それとなく避けてきた経緯があります。今では本当に後悔しています。

君たちもやがて年を取ります。人生は輪廻転生ではないでしょうか？

現代のさまざまな知恵や手法の中には、先人から受け継いだものが数多くあります。その意味ではわれわれも、自身の経験を通じて得たものを、少しでも若者に伝える義務があると思います。

以下は私が今までの人生で経験したことや、日常生活を通じて何気なく感じたことなどをまとめたものです。どうぞリラククスして読んでいただき、これからの人生にお役立ていただけたら幸いです。

2020年10月 著者 萩原睦幸